

CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」で

最高評価の「リーダーボード」に選出されました



国際環境非営利団体 CDP の「サプライヤー・エンゲージメント評価」において、不二製油グループは初めて最高評価である「リーダーボード」に選出されました。2020 年度は、気候変動に関するサプライヤー・エンゲージメントについて 5,640 社が評価され、当社グループを含む上位 7%、約 400 社が「リーダーボード」に選出されました。

「サプライヤー・エンゲージメント評価」は、気候変動問題に対する企業のサプライチェーンへの働きかけを評価し、企業間連携を促進する指標です。CDP 気候変動質問書における 4 つの分野の質問（ガバナンス、目標、スコープ 3 排出量算定、サプライヤーとのエンゲージメント）への回答と、CDP 気候変動質問書スコアの観点で評価されます。

不二製油グループは、「Plant-Based Food Solutions（植物性食品素材で社会課題を解決）」の創造と提供により持続的な成長を実現する ESG 経営を推進しています。自社の操業における環境対策に加え、サプライチェーン全体における温室効果ガス排出量の把握と「Science Based Targets イニシアチブ」に認証された排出量削減目標の設定、およびパーム油のサプライチェーンにおける環境社会問題に配慮した調達活動をご評価いただいたものと考えています。

当社グループは、2020 年度の CDP の 3 つの質問書（森林、気候変動、水セキュリティ）のすべてにおいても最高評価の「A リスト」に選定され、日本企業として初めて「トリプル A」を獲得しています。

今後もおいしさと健康で社会に貢献すべく、サプライチェーン全体での取り組みを加速させてまいります。

気候変動に関するサプライヤー・エンゲージメントの詳細はこちらをご覧ください。

[> 2020 年 5 月 12 日 ニュースリリース 温室効果ガス削減目標に関して「SBT イニシアチブ」の認証を取得](#)
[> サステナビリティレポート 2020 パーム油のサステナブル調達](#)

不二製油グループ本社株式会社について

不二製油グループは、業務用チョコレート、チョコレート用油脂、植物性油脂、クリーム、マーガリン、チーズ風味素材などの製菓・製パン素材、大豆加工素材などの分野で、植物由来のフードソリューションを提供しています。日本に本社を置き、14カ国に32社、約6000名の人材を擁しています。1950年の創業以来、不二製油は「他社に追随することなく、独自性を活かして新分野を開拓することが生き残り発展への道である」という信念を貫いてきました。南方系油脂を中心に、早くから海外展開を開始しました。同様に、大豆が人の健康と環境に貢献するという信念のもと、半世紀以上にわたり研究とそれらの活用を続けています。

<https://www.fujioilholdings.com/>

CDPについて

CDPは、温室効果ガスの排出削減、水資源の保護、森林の保護を企業や政府に働きかけている世界的な非営利団体です。投資家から第1位の気候調査会社に選ばれ、運用資産規模で106兆米ドルの機関投資家と協力しています。投資家と購買組織とともに、企業が環境への影響を開示し、管理するように動機付けています。2020年度には、世界の時価総額の50%強を占める9,600社強の企業がCDPを通じて環境情報を開示しました。これに加え、数百の自治体もCDPを通じて環境情報開示を行っています。CDPのプラットフォームは、企業や政府がどのように環境変化を推進しているかに関する世界で最も豊富な情報源の1つとなっています。CDPはWe Mean Business Coalitionの創設メンバーです。

<https://japan.cdp.net/>